

今日からできる対策

ニセ電話詐欺等の被害に遭わないためには「犯人と話さないこと」が重要です

犯人から電話がかかってこないようにする

外国からの電話の利用休止



固定電話向けサービス

国際電話番号を悪用した被害が増えています。普段、海外と固定電話で通話することがない人は、国際電話の利用休止を申請すると効果的です。

国際電話不取扱受付センター

Tel 0120-210-364

◆オペレーター案内
月～金曜日
9時～17時(祝日除く)

◆自動音声案内
24時間

詳細は
こちら



※上記のほか、最寄りの警察署でも申し込みができます。

在宅時でも家の電話は常に留守番電話設定にする

防犯機能付き電話機の導入



固定電話向けサービス

着信音が鳴る前に自動メッセージで警告してくれたり、通話を自動録音してくれたりと便利な機能が付いています。番号表示・非通知拒否サービスと組み合わせる利用できるものも販売されています。

知らない番号には応答しない

番号表示・非通知拒否サービス



固定電話・携帯電話向けサービス

電話番号が電話機のディスプレイに表示されるので、相手を確認してから電話に出られます。

また、非通知でかかってきた電話に「番号を表示しておかけ直してください」といった音声メッセージが応答するので、電話が鳴ることなく対応できます。

相手がビデオ通話に誘導してきたらすぐに電話を切る

ニセ警察官とのビデオ通話にご用心

「あなたの口座が犯罪に利用されている」などと話し、調査の名目でお金を振り込ませる手口が増えています。

警察がビデオ通話で警察手帳や逮捕状を提示したり、お金の振り込みを要求したりすることはありません。すぐに電話を切りましょう。

不安に感じたらご相談ください

電話窓口



警察相談専用窓口：＃9110
消費者ホットライン：188

WEBサイト



警視庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ



茨城県警察
特殊詐欺対策ページ



ニセ電話詐欺等の被害を防ぐ



県警では、特殊詐欺の事を「ニセ電話詐欺」と呼んでいます。この詐欺は日々手口が巧妙化しており、高齢者だけでなく20代や30代の被害も増えているため注意が必要です。

犯人は、さまざまな手段であなたを動揺させて金品を奪おうとします。「自分は大丈夫」と思わず、いつ自分が当事者になっても冷静に対応できるよう、日頃から注意して生活しましょう。

主な手口

県内で被害の多い手口を紹介します。「お金」や「キャッシュカード」などの話が出た場合は、電話を切って警察や家族に相談しましょう。

1

架空料金請求詐欺

成り済ます
会社など

インターネット
サイト事業者
法務省 裁判所

「未払いの料金がある」など、架空の事実を口実として金銭等をだまし取る(脅し取る)手口です。携帯電話にショートメッセージ(SMS)が送られたり、自宅にはがきが送付されたりします。

2

オレオレ詐欺

成り済ます
人物

警察官 弁護士
親族

電話口で、仕事に関するトラブルなどを口実にお金を要求する詐欺です。親族を装う場合は「風邪をひいて喉の調子が悪い」「携帯電話をなくした」などと言い、声や電話番号に違和感を持たれないような手口を使います。

3

還付金詐欺

成り済ます
人物

自治体・税務署・
年金事務所の職員

「医療費・保険料の過払い金や、一部未払いの年金がある」など、お金を受け取れるという内容の電話をかけてきます。犯人の指示通りにATMを操作すると、犯人の口座にお金が振り込まれるという詐欺です。

4

キャッシュカード詐欺盗

成り済ます
人物

警察官
銀行協会職員
大手百貨店職員

電話で「キャッシュカードが不正に利用されているため、確認させてほしい」などの名目でキャッシュカードを準備させます。その後自宅を訪れた犯人が、隙を見てすり替えるなどしてカードを盗み取る手口です。

5

SNS型投資詐欺

成り済ます
人物

著名人 投資家
金融商品取引業者

SNSなどの非対面の手段で投資を勧め、投資名目で金銭等をだまし取る詐欺です。著名人の名前・写真を悪用した嘘の投資広告を出したり「必ずもうかる」などの甘い言葉で誘惑したりします。